



株式会社 友 興 組

2023年度 環境経営レポート



(対象期間：2023年 7月～2024年6月)



発行日： 2024年8月1日

I 環境経営方針

基本理念

株式会社 友興組は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、持続可能な社会を目指して、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

環境経営方針

株式会社 友興組は、土木工事・施工管理にかかわる全ての活動及びサービスの環境負荷を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動及びサービスに係る環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
なお、環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応などを含みます。
2. 当社の活動及びサービスに係る環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動及びサービスに係る環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素の削減を推進します。（電力、ガソリン、軽油）
 - (2) 廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
 - (3) 水道使用量の削減を推進します。
 - (4) エコ製品購入を推進します。
 - (5) 環境に配慮した施工の推進をします。
 - (6) ICT化による業務の効率化に努める。
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメント活動を推進します。

制定日 2019年 7月 1日

改定日 2019年 11月 21日

株式会社 友 興 組
代表取締役 安 藤 文 久

Ⅱ．組織の概要

- (1) 名称及び代表者名

株式会社 友興組

代表取締役 安藤文久
- (2) 所在地

本社

〒654-0121 神戸市須磨区妙法寺字廿苅1125-1
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者

工務部長 来住 吉晃

担当者

総務課長 安藤 公恵

TEL : 078-741-5800

FAX : 078-741-6611

E-Mail : me-yan@youkou-g.co.jp
- (4) 事業内容

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業

一般貨物自動車運送事業
- (5) 事業の規模

設立

昭和44年11月21日

資本金

45,000,000円

事業の規模

①建設業

年間工事売上高

18億8853万円 (2023年度)

	本社	事務所	資材置き場
従業員	49名	-	本社敷地内
延べ床面積	584.95㎡	585㎡	-
敷地面積	6666.15㎡	-	5418.91㎡

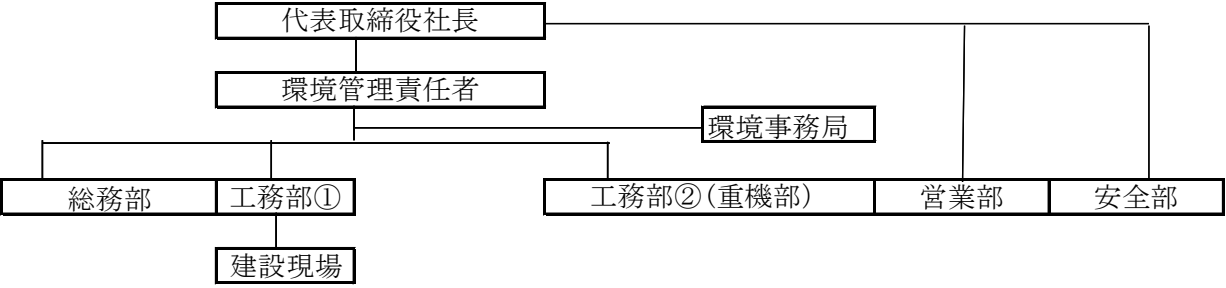
建設業用車両・重機等			
区分	名称	台数	型式・性能
運搬車両	10 tダンプ	4	
	3 tダンプ	2	
重機	バックホウ	1	0.7m ³
	バックホウ	1	0.45m ³
	バックホウ	1	0.2m ³
	バックホウ	1	0.12m ³

- (6) 事業年度

6月21日～翌年6月20日

環境年度は7月～翌年6月とする

(7) 組織



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直しを実施
	・環境経営レポートの承認
	・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施
	・環境教育訓練計画の作成と実施の管理
	・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む）
	・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境経営システムの実施
	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	・特定された項目の運用管理
	・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 （現場代理人）	・建設現場における環境経営システムの実施
	・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施
	・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成
	・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅲ．認証・登録の対象範囲

登録組織名：株式会社 友興組

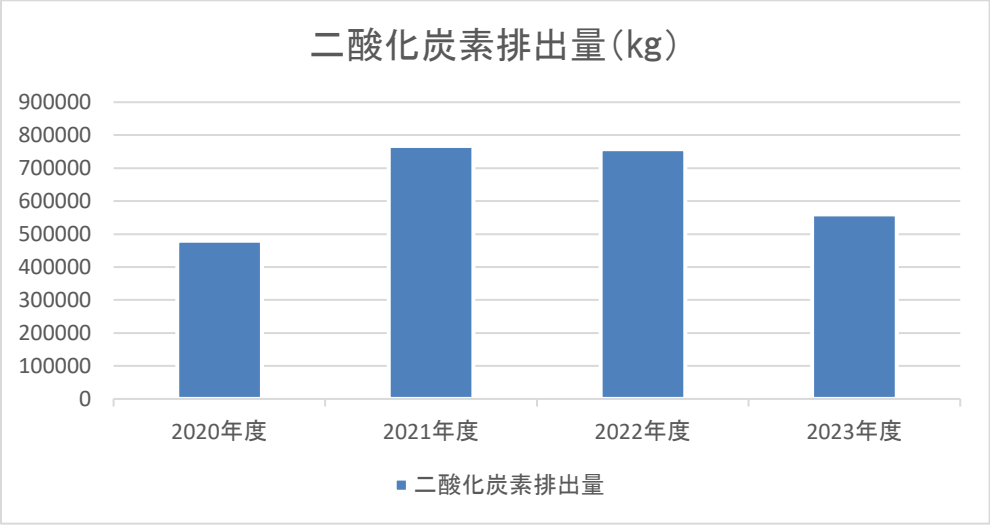
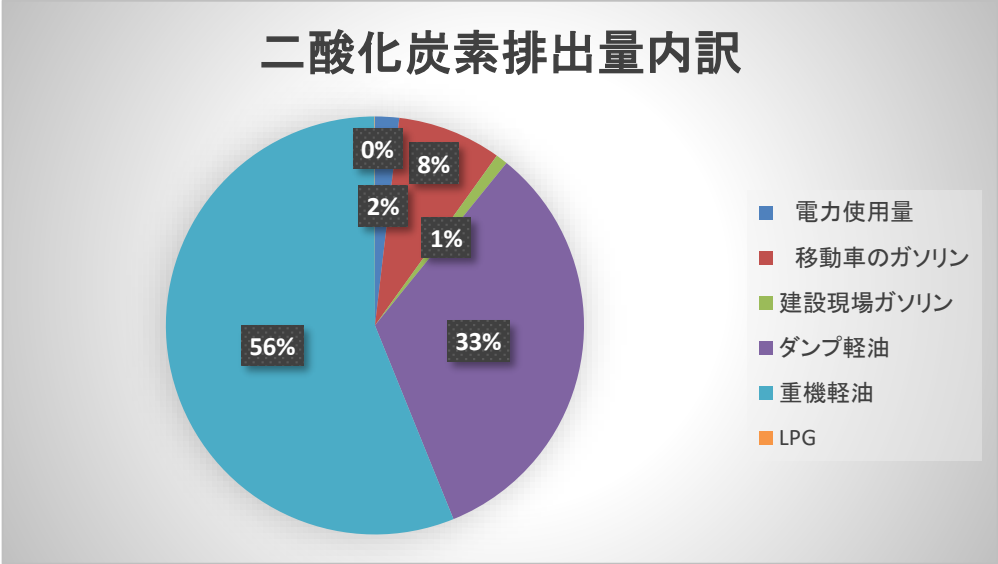
対象事業所：本社

活動：土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業

Ⅳ．主な環境負荷の実績

項 目	単位	2018年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	777,087	479,250	767,312	757,656	558,992
電力使用量	kWh	37,337	33,196	31,391	31,117	33,676
ガソリン使用量	L	23,847	21,250	21,287	22,787	21,625
軽油使用量	L	269,471	158,548	268,551	265,310	190,235
LPG	kg	47.08	44.14	56.32	62.71	59.20
廃棄物排出量	kg					
一般廃棄物（可燃ごみ）	kg	357	342	336	330	327
産業廃棄物	kg	4,496,102	3,453,340	13,795,700	14,816,420	10,362,540
水道水使用量	m ³	514	343	346	385	408

注1）化学物質の使用実績なし



V．環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		2018年度 基準年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
項 目							
I．二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	772,950	749,761	742,032	734,302	726,573	718,843
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
電力使用量削減	kWh	37,337	36,217	35,844	35,470	35,097	34,723
	kg-CO ₂	11,612	11,263	11,147	11,031	10,915	10,799
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
ガソリン 使用量削減	L	23,847	23,609	23,370	23,132	22,893	22,655
	kg-CO ₂	55,325	53,665	53,112	52,559	52,006	51,452
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
軽油 使用量削減	L	269,471	261,387	258,692	255,997	253,302	250,608
	kg-CO ₂	706,013	684,833	677,773	670,712	663,652	656,592
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
II．廃棄物排出量							
一般廃棄物(可燃ご み)	kg	357	346	343	339	336	332
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
産業廃棄物 適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
建設リサイクル率 の向上	%	98.5%	98.8%	98.9%	99.0%	99.1%	99.2%
	対基準		+0.3%	+0.4%	+0.5%	+0.6%	+0.7%
III．水使用量 削減	m ³	514	499	493	488	483	478
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
IV．環境に配慮した 施工の推進	件	実績不明	実態調査	12	12	12	12
	対基準		12件	100%	100%	100%	100%
V．ICT化の推進	行動目標（後述）						

注) 1 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力（株）2021年度実績値の調整後係数 0.311kg-CO₂/kWh を使用。

注) 2 LPGは使用量がきわめて少ないので削減活動は行うが、経営目標には設定しない。

(2) 運用期間の実績

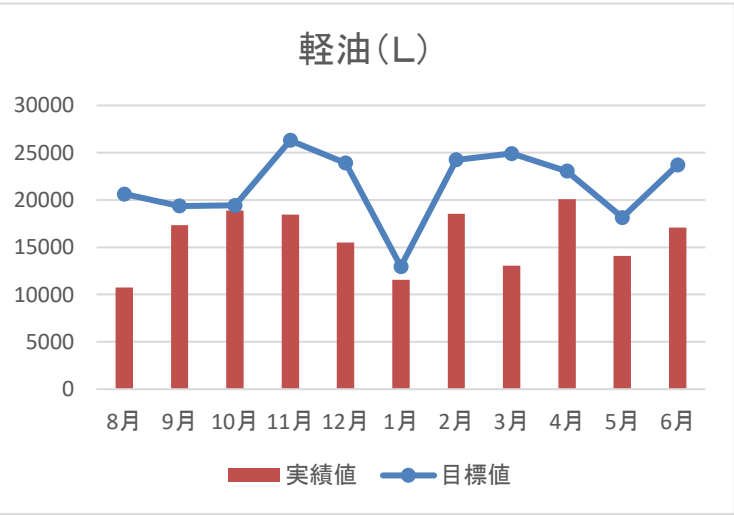
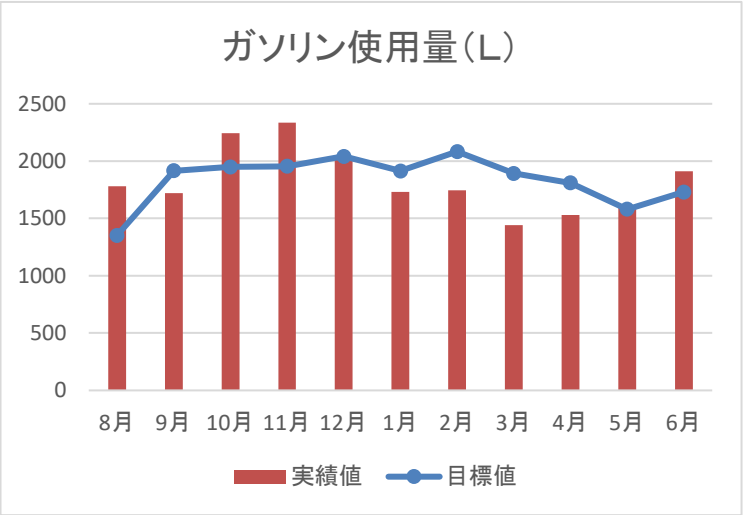
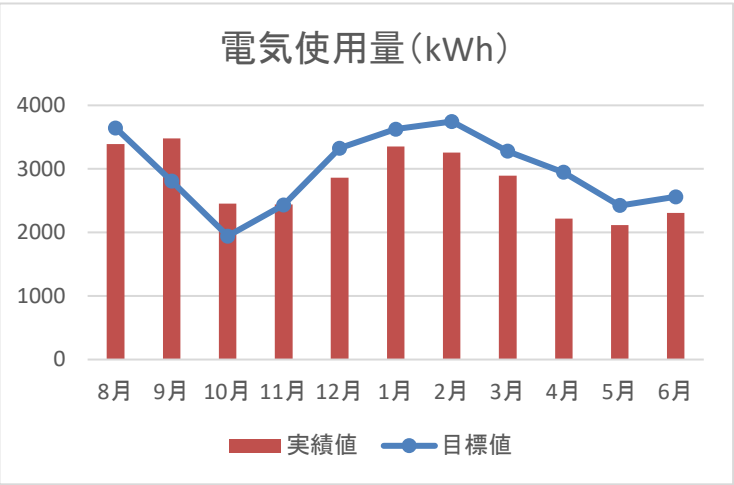
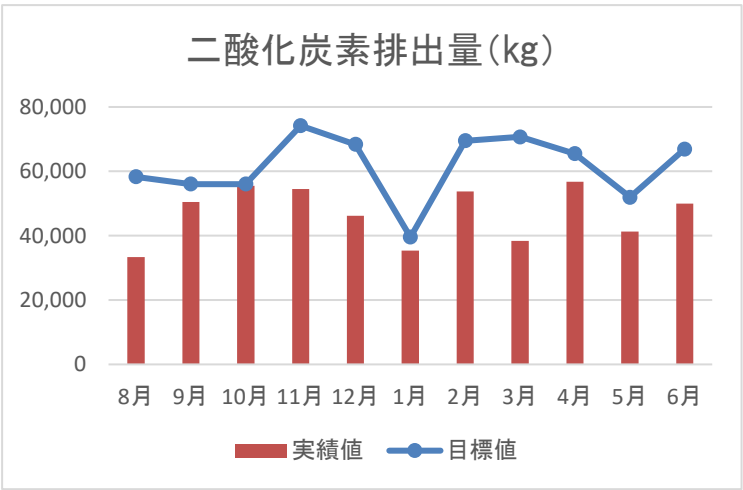
年 度 項 目		2018年 7月～6月	運用期間における実績			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	772,950	734,302	558,992	131%	○
	対基準		△ 5 %	-28%		
電力使用量削減	kWh	37,337	35,470	33,676	105%	○
	kg-CO ₂	11,612	11,031	14,077		
	対基準		△ 5 %	-10%		
ガソリン 使用量削減	L	23,847	23,132	21,625	107%	○
	kg-CO ₂	55,325	53,665	50,170		
	対基準		△ 5 %	-9%		
軽油 使用量削減	L	269,471	255,997	190,235	135%	○
	kg-CO ₂	706,013	670,712	498,416		
	対基準		△ 5 %	-29%		
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物(可燃ごみ) 削減	kg	357	339	327	104%	○
	対基準		△ 5 %	-8%		
産業廃棄物 適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	—	○
建設リサイクル率 の向上	%	98.5%	99.0%	99.5%	101%	○
	対基準		+0.5%	1.0%		
III. 水使用量 削減	m ³	514.0	488.3	408.0	120%	○
	対基準		△ 5 %	-21%		
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件	12	12	12	100%	○
	対基準	2019年度	100%	100%		
V. ICT化の推進	行動目標（後述）					

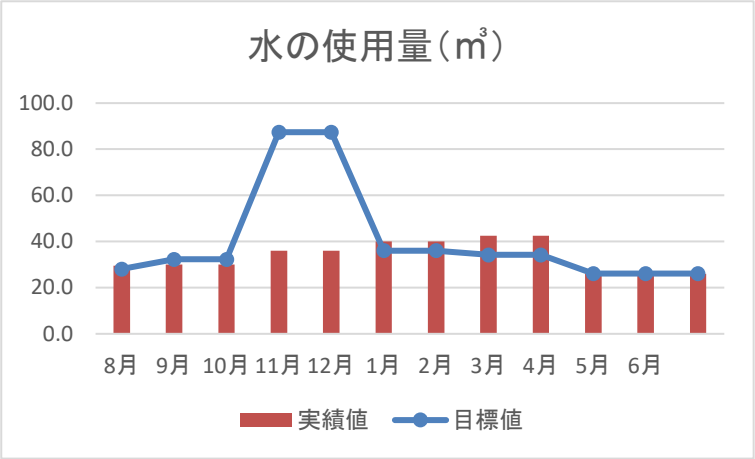
注1 達成度 削減するもの：目標÷実績×100%, 向上するもの：実績÷目標×100%

注2 100%以上は達成：○

95%以上100%未満はやや未達成：△

95%未満は未達成：×





VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 （目標達成）		
（下記の通り）	○	（下記の通り）
電力使用量の削減 （目標達成）		
・空調温度の適正化 （冷房28℃暖房20℃）	○	目標は達成したが、今後もっと工夫をして更なる節電対策を考える
・不要照明の消灯	○	各階での消し忘れや部分的点灯など、不要照明の点灯を削減する
・待機電力の削減	○	使用していない電源を切り、不要なコンセントを抜くなどさらに待機電力の削減に努める。
ガソリン使用量の削減 （目標達成）		
・アイドリングストップ	○	
・急加速・急停車の防止	○	
・効率的な移動	○	次年度も、左記取組を継続する。
軽油使用量の削減 （目標達成）		
・重機の空ふかしの禁止	○	必要以上に回転数を上げないように徹底する
・アイドリングストップ	○	待機時間のエンジン停止の徹底
・運行の効率化	○	ETCを活用し効率化に取り組む
・空気圧、オイル等の点検	○	次年度も、左記取組を継続する。
一般廃棄物（可燃ごみ）の削減 （目標達成）		
・裏紙の使用	○	裏紙使用の再徹底
・FAXからメールに切替	○	得意先、協力業者へはメールで通知・連絡 今後も正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
産業廃棄物の適正管理 産業廃棄物は適正管理実施するも継続調査）		
・実態調査	△	正確な排出量を把握する工夫をする。 今後も実態調査を継続しながら、削減に努める。
建設リサイクル率の向上 （目標達成）		
・分別によるリサイクル推進	○	コンクリート殻の割合が多く、リサイクル率が高かった。
・仮設資材の再利用の推進	○	仮設資材を別現場も含めて再利用に努める。 次年度も、左記取組を継続する。
水使用量の削減 （目標達成）		
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。 次年度も、左記取組を継続する。
環境に配慮した施工の推進 （環境配慮工事実施。工法継続調査中）		
・工事分野別の技術・ノウハウの収集	△	各種工事分野の環境配慮工法について調査を開始。 引き続き継続する。
・環境配慮施工の推進	○	可能な限り環境に配慮した施工を実施する。 次年度も、左記取組を継続する。
ICT化の推進		
・Zoomの採用	○	社内会議で積極的に取組んだ。
・ガラ携帯からスマホに変更する事により、ラインワークスを活用し業務の効率化を図る 掲示板サイトの利用	○	順次、スマホに変更していっています。
・ICT対応の測量機械の導入	○	レンタル機械で対応しています。

VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出、多量排出事業者の処理計画の提出及び実施状況報告	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
消防法	(防火対象物) 消火設備の維持・点検	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境関係当局より違反等の指摘・環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 総括

一年間を通しての結果としては良好であるが、月単位で未達が見られられるので、その原因を全社員で考えて未達の月が無いように努力してください。
毎年同じようなことになりましたが、地球温暖化防止に役立てる様に頑張ってもらいたい。又、何事においても常に創意工夫を考えていく事が大切であると大切であると思うので少しでも良いアイデアがあるなら全社員で意見を出し合い良い結果になる様にしていきたいと思います。

2. 見直し結果

環境経営方針：	☐ 見直しの必要有	☒ 見直しの必要無
環境経営目標・環境経営計画：	☐ 見直しの必要有	☒ 見直しの必要無
実施体制：	☐ 見直しの必要有	☒ 見直しの必要無

2024年 8月 1日
代表取締役 安藤 文久

IX. 環境への取組の紹介



<省エネ>



<ごみの分別>



<清掃活動>